

アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法について

舌下免疫療法とは？

アレルギーの原因となる物質（アレルゲン）で作られたお薬を舌下（ペロの下）に毎日内服することで、アレルゲンに対して強くなる（耐性獲得）ことを目指す治療のことです。

当院では、スギ花粉症とダニによるアレルギー性鼻炎に対して、5歳以上の小児を対象に舌下免疫療法の導入を行っております。

また、治療期間が長期間となることから、すでに鼻炎症状のある方については、学業・部活などで忙しくなる中学生・高校生になる前に、小学生までの導入をオススメしております。

これまでのアレルギー性鼻炎に対する治療は、基本的には症状を抑える抗アレルギー薬の内服・点鼻・点眼での治療と、花粉やホコリなどを回避する環境調整が主体でした。

しかし、これらの治療はいわゆる「対症療法」であり、アレルゲンに反応してしまう体質を改善するものではありません。

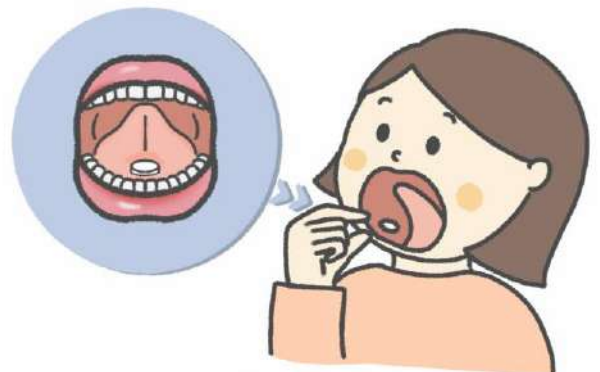
そのため、中には経年的に症状が改善する方もおられますが、そうでない方は症状を抑えるためにずっとお薬での治療を続けるか、我慢して生活するかのどちらかとなります。

舌下免疫療法はアレルゲンへの反応そのものを低下させるので、効果があればお薬を減らしたり、なくしたりできる可能性のある治療です。

また、鼻炎・結膜炎症状を早期から抑えることにより、それ以降の新たな花粉やダニ・ホコリへのアレルギー反応を予防できるとされています。

スギ花粉症に対する舌下免疫療法は開始できる時期が決まっており、スギの飛散時期（2月～5月）には開始することができないので、6月以降～年末までの開始をオススメしております。

また、ダニ舌下免疫療法については、時期に関係なく開始できますが、他の原因による鼻炎が落ち着いている時期の開始をオススメしております。



ぜっかめんえきりょうほう
舌下免疫療法

治療開始に際しての主な注意点

- ・ アレルゲンを投与することから、局所的なアレルギー症状（口や耳のかゆみ、喉のイガイガ）や、まれに全身性アレルギー症状が現れる可能性があります。
 - ・ スギ花粉の飛散していない時期や、鼻炎症状のない時期も含め、毎日の服用が必要です。
 - ・ 長期的な治療効果を得るためには、3～5年間の内服継続が推奨されています。
 - ・ 定期的な通院が必要です（1～2ヶ月毎）。
 - ・ 開始前1年以内にアレルギー検査を行っていない場合は、スギやダニへの感作（体がアレルギー反応を起こしている状態）の確認のため、先に血液検査を行います。他院でアレルギー検査をされたことのある方は、検査結果を持参してください。
 - ・ 初めての内服の際は、副反応の有無や内服方法に問題がないかの確認のため、病院にて行います。特に年少児の場合は、舌下に1分間飲み込まずに保持できるか、痒みなどの症状をきちんと伝えられるか、などについて確認します。
- ※より詳しく知りたい方は、鳥居薬品の舌下免疫療法情報ページをご覧ください。
→ トリーさんのアレルゲン免疫療法ナビ <https://www.torii-alg.jp/>

舌下免疫療法導入を希望の方や
相談を希望の方は、
遠慮なくお申しつけください。

